

豆狸の寝言

副会長 三原幸二

旅行が好きである。なかでも見知らぬ土地へ行き、その土地の人々と出会うのを楽しみにしている。

お土産物を買うのも楽しみである。お渡しした時の笑顔を思い浮かべながら、あの人にはこれ、この人にはあれと品選びずる喜びはまたひとしお一入である。

そんなお土産物について最近気になることを耳にした。ある地方の名産の漬物が、栽培されてから商品になるまで外国で作られているという話を、その地方の旅館の番頭さんが得意気に話しているのを聞いてびっくり仰天した。

学生時代に食べた味が忘れられず、その地方に行くたびに、土地の人々が丹精こめて作ってくれている、そう思って買っていた漬物が、いつのまにか外国で作られたものが混ざっていると知ったときは、いささかショックであった。夢を壊された思いである。



それ以来、包装の裏の表示を必ず見て、国産かどうかよく確かめるようになったが、昔、海外で買ったお土産にメイド・イン・ジャパンと印されていたことを思い出し苦笑した次第。

その後は、その漬物を遠ざけるようになったのは言うまでもない。

ところで能登では毎月二十日に、地物しか売ってはいけない市があるらしい。懸命に「産地」を守ってくれているところがあるのは、我々には嬉しく、心強いことである。

(お土産物)

会報誌 **New Wave** へご寄稿のお願い

「New Wave」誌は、皆さまに身近な会報誌としてご愛読していただくことを目指しています。その第一歩として、読者の皆さまからのご寄稿を数多く掲載することを計画しています。一人で心の中にしまっておくには勿体ないような面白い話や為になる話。それに、地元のグルメ情報などジャンルは問いません。

ご寄稿は、メール・アドレス「zennichi@jeda.or.jp」へ、件名「寄稿」と記入の上、送信して下さいますようお願い致します。800～1000文字程度にまとめた文章に写真2～3点を添えていただければ幸いです。

各単組の組合員企業ならびに賛助会員企業の皆さまよりのお便りをお待ちしております。

全日本電設資材卸業協同組合連合会・広報委員会